



第159号
2020.6月号

医療法人 済衆館 済衆館病院
〒481-0004 北名古屋市鹿田西村前111番地
TEL.0568-21-0811(代表)
FAX.0568-22-7494
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp
https://saishukan.com

発行/済衆館病院広報委員会

マンスリー 済衆館だより

裏面: 小腸カプセル内視鏡検査

外来診療担当医表(6月)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	横崎 消化器	渡辺 消化器	森 糖尿病・膠原病	柴田 循環器	吉田(勝) 循環器	柳澤 第1・2・3 第4(午後のみ) 呼吸器
		今村(亜) 循環器	橋本 呼吸器	今村(亜) 循環器	渡辺 消化器	戸部 第2・3・4 循環器	多田 第1・2・3 腎臓・リウマチ・膠原病
		森 糖尿病・膠原病	榎原 循環器	吉田(勝) 循環器	担当医 脳神経	伊藤(隆) 脳神経	末澤 消化器
		岡城 循環器	鈴木(重雄) 消化器	横崎 消化器	岡城 循環器	森 糖尿病・膠原病	担当医
		平山 脳神経	伊藤(隆) 脳神経	末澤 消化器		橋本 呼吸器	
			吉田(由) 糖尿病内分泌	多田 腎臓・リウマチ・膠原病		吉田(由) 糖尿病内分泌	
外科	午前	川崎	今村(康) 外科・総合診療科	勝野	今村(達)	今村(康) 第2・3・4 外科・総合診療科	川崎 10:30~
			神谷	河合(純)	川崎	井上	河合(純)
眼科	午前	半田	半田	半田	半田	半田	半田
	午後 受付時間	半田 13:30~15:30		担当医 13:30~15:30		半田 13:30~15:30	
小児科	午前	植	植	植	白井	植	植
	午後	植 15:00~16:00	植 15:00~16:00			植 15:00~16:00	
皮膚科	午前				休診		
整形外科	午前	中里	鷹羽	相羽	松尾(英)	中里	松本
		松尾(英)	担当医	担当医	担当医	栗本 9:30~	佐伯 第1・3 早川 第2・4
歯科・口腔外科	午前	梅村/吉崎	梅村	梅村/長谷川	梅村	梅村/阿曾	

専門外来

	月	火	水	木	金	土
内科	糖尿病内分泌 和田 9:00~12:00	循環器 水谷(浩) 13:00~15:00	糖尿病内分泌 上田 13:00~	禁煙外来 橋本 14:00~	老年内科(物忘れ) 遠藤 予約制 14:00~16:00	
	消化器・肝臓 栗木(第2・3・4・5) 13:30~15:30		呼吸器 柳澤 (第1・3) 予約制 14:30~15:30	消化器・肝臓 栗木 14:30~15:30		
	IBD/便秘外来 渡辺 予約制 14:00~16:00	総合診療科 鈴木(貴) 13:30~15:30	老年内科(物忘れ) 遠藤 予約制 14:00~16:00	腎臓・リウマチ・膠原病 多田 13:30~		
外科	乳腺外科 稲石 予約制 9:00~10:30	脳神経外科 飯塚 予約制 14:30~16:00	乳腺外科 佐藤 予約制 14:00~16:00	泌尿器 遠山 14:00~14:30	脳神経外科 飯塚 (第1・2・4) 14:00~16:00	形成外科 担当医 9:00~10:00
	泌尿器 河合(昭) 14:00~16:00	小児外科 勝野 13:00~16:00		脳神経外科 担当医 (第1・2・4) 14:00~16:00	脳神経外科 担当医 (第3) 14:00~16:00	脊髄外科 西村 (第1・3) 9:00~11:30
	内分泌外科 日比(八)(第1) 予約制 15:00~16:00	緩和ケア 秋山 13:30~16:00	脳神経・脊髄外科 担当医 14:00~16:00	脳神経外科 飯塚 (第3) 予約制 14:30~16:00		脊髄外科 担当医 (第2・4) 9:00~11:30
	内分泌外科 酒井(第3) 予約制 15:00~16:00	美容皮膚科 五島 予約制 13:30~16:00		血管外科 今枝 14:00~16:00	泌尿器 担当医 一部予約制 14:00~	泌尿器 鈴木(晶) (第2・4) 9:00~12:00
	脳神経外科 吉田(純) 予約制 15:00~16:00					

- ★外来は、原則として予約とさせていただきます。
 - ★受付時間 午前8:30~11:30
午後の専門外来は診察時間の30分前からとなります。
 - ★診察時間 午前9:00~12:00
 - ★都合により担当医師が変更となる場合があります。
 - ★急患の場合はお電話ください。
時間外・休日も診察致します。
- TEL.0568-21-0811(代表)

健診・ドックセンター

- 人間ドック ●企業健診

- 特定健診 ●特定保健指導

40歳から74歳の健康保険(国民健康保険、健康保険組合、全国健康保険協会、共済組合など)被扶養者(家族)の方も対象となっております。

健診・ドックセンター

TEL.0568-58-1535(直通)



コロナ禍の中、必要な検査を延期したままで良いでしょうか？
手遅れにならないように…感染ガードをしながら安全に検査を受けましょう

小腸カプセル内視鏡検査

どんな病気が見つかるのでしょうか？

小腸カプセル内視鏡では、小腸出血、潰瘍、腫瘍（ポリープ、悪性リンパ腫、カルチノイド腫瘍など）やクローン病、

※1 ポイツ・イエガース症候群などの病気がわかります。

※1 ポイツ・イエガース症候群
胃・小腸・大腸にポリープが多発する遺伝性疾患

内視鏡検査というと胃や大腸の内視鏡検査を思い浮かべ、苦痛が伴うのでできれば受けたくないという方が多いと思います。胃カメラが日本で誕生したのが1952年でした。このカメラは内視鏡先端に小さなレンズと幅6mmのフィルムをセットして撮影するという、文字通り胃の中を写すカメラでした(図1)。1960年代に入ると“ファイバースコープ”と呼ばれるグラスファイバーを使用した内視鏡が登場し、手でリアルタイムに画像が観察できるようになりました。多くの試作品が作られ、1960年代後半には大腸ファイバースコープが生まれました。当初は長さ67cmしかなく、日本人の大腸の半分も見ることができないものでした。それから70年を経て、内視鏡機器はすさまじく進歩し、胃や大腸はもとより、胆管や膵管という径が数mmにも満たない管の中を観察できる内視鏡や、顕微鏡のようなレンズを装備した内視鏡が開発され、**病変を100倍も拡大**して詳しく観察できる拡大内視鏡などが実際の臨床の場で使用されるようになりました。



図1:初期のカメラ(1950年代) オリンパス社のホームページより

皆さんご存知のように、内視鏡検査が行われる“消化管”という臓器は、食道→胃→十二指腸(ここで胆管・膵管が合流します)→小腸→大腸と長い管のようになっていて、この順に口から食べた食べ物は流れていき、消化・吸収されて、最後は肛門から便として体外に排出されます。“消化管”はよく内視鏡検査が行われる臓器とお話ししましたが、小腸の検査はどうなっているのだろうか?と疑問に思われた方もみえるのではと思います。小腸は“消化管”の真ん中に位置しているため、小腸を口から観察しようと思うと、食道(0.3m)+胃(0.35m)+十二指腸(0.25m)と小腸に到達するまで**1m近くアプローチが必要**です。また肛門から観察しようとしても大腸(1.6m)の奥にあるため、口からも肛門からも小腸に到達することは困難です。それ以上に小腸の長さは6-7mあり、消化管の中では最も長い臓器で、その小腸を全部観察できるような内視鏡を作ることは不可能でした。

そのため小腸は長らく「暗黒大陸」と呼ばれ、小腸疾患の診断・治療は消化器疾患の中でも最も後れをとっていました。

そんな中、2001年にSFの世界のような方法で小腸検査に特化した内視鏡が誕生しました。残念ながら日本で生まれたものではなく、イスラエルで開発された小腸カプセル内視鏡というものでした。この小腸カプセル内視鏡は直径11mm、長さ26mm 重さ3.45gで、デジタルカメラでも使われる高解像度イメージセンサー、小型バッテリー、フラッシュの役割をする白色LED、無線送信装置などが搭載され、正に「電子デバイスの超小型カプセル」です(図2)。撮影された画像は、体表に貼った8か所のセンサーで受信し、内視鏡画像を記録するデータ記録装置に送られます(図3)。



▲図2:小腸カプセル内視鏡 PillCam™ SB 3
直径11mm、長さ26mm 重さ 3.45g

図3:体表に貼ったセンサーとデータ記録装置▶
順天堂大学医学部附属病院ホームページより

検査方法ですが、朝に病院で小腸カプセル内視鏡を水と一緒に飲んでいただきます。小腸カプセル内視鏡が小腸を進みながら小腸内部の画像を撮像記録していきます。小腸全部を観察するのに8時間程かかり、その間、約5万枚もの画像を撮影します。撮影が終了した小腸カプセル内視鏡は便と一緒に自然に排泄されます。

この小腸カプセル内視鏡の最大の利点は、苦痛はなく、楽に検査を受けられることです。通常の内視鏡検査では挿入時などに痛みを伴う心配がありますが、小腸カプセル内視鏡では嚥下時の苦痛はほとんどなく行えます。胃や大腸の検査では空気を送り込み、しばんだ胃や大腸を広げます。一方、小腸カプセル内視鏡では、小腸に空気を送り込まずに検査をするので、お腹が張らず、苦痛もなく検査が受けられます。小腸カプセル内視鏡を口から飲むことは病院で行いますが、それから8時間かかる検査の間は院外で自由に行うことができます。また小腸カプセル内視鏡を飲んでから2時間たてば普通の食事でも食べることができます。

現在ではこの小腸カプセル内視鏡で小腸の様々な疾患が診断され、治療に結び付いています。それらは冒頭に申し上げましたが、**小腸出血、潰瘍、腫瘍(ポリープ、悪性リンパ腫、カルチノイド腫瘍など)やクローン病、※1ポイツ・イエガース症候群**などです。

済衆館病院で小腸カプセル内視鏡検査ができるようになりました。小腸からの出血や腫瘍、クローン病が疑われる場合には積極的に小腸カプセル内視鏡検査を行ってまいりますので、消化器内科、外科、内科にご相談ください。

副院長 消化器内科 渡辺 修

四字熟語

雨露霜雪(うろそうせつ)

さまざまな気象の変化のこと。また、人生のさまざまな困難のたとえ。

➡ 次号は「免疫を上げる食事について」です

●6月1日(月)~7日(日) HIV検査普及週間

●6月4日(木) 歯と口の健康週間 ●6月5日(金) 世界環境デー

●6月21日(日) 夏至・父の日

■ 第159号 2020.6月

■ 発行/済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館 済衆館病院

TEL.0568-21-0811(代表)

〒481-0004 北名古屋市長田西村前111番地
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp https://saishukan.com
FAX.0568-22-7494

当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。